

令和3年9月8日

地方公共団体・下水道公社等
下水道担当課長 様

地方共同法人
日本下水道事業団(JS) 研修センター所長
(公 印 省 略)

令和4年度 JS 研修センター研修参加意向確認等事前調査について(依頼)

日頃より、JS研修業務につきまして、ご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

毎年、地方公共団体・下水道公社等の皆様に研修に関する調査を実施させて頂き、研修人員の把握に努めるとともに、皆様のご意見を研修に反映させて頂いております。

研修を適切に運営するため、研修生の予定人員及び研修ニーズ等の把握は重要でありますので、大変お忙しいことと存じますが、以上の趣旨をご勘案の上、下記調査にご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

なお、今回送付させて頂きます研修計画は予定でございますので、研修コース名、期間、オンライン研修料金等、変更になる場合がありますことをご了承願います。令和4年度の戸田研修の形態は、**戸田宿泊型のみとなります。新寮室棟竣工により宿泊施設が管理本館棟の2箇所となり、これに伴い宿泊料金の改定を予定しております。また、オンライン研修の拡充等に伴い受講料の一部を改定いたします。**

令和4年度の確定した研修計画につきましては、令和3年12月頃、当事業団ホームページにて発表させていただきます。

記

【令和4年度 JS研修計画策定のための調査】

研修計画策定のための調査であり、**研修申込みの受付ではありません**ので、ご注意ください。

(1) 調査票 様式1 (戸田研修(対面集合)、オンライン研修及び地方研修の3ページにまたがっています。)

各コースの右空欄に参加予定人数を記入の上 メール 又は FAX を願います。

(2) 調査票 様式2

研修に関するコース及びカリキュラム等の内容、研修期間等に関し、意見、要望を記入願います。**(記入いただける範囲でご回答ください。)**

(3) 調査票 様式3 技術検定に関する意見、要望を記入願います。

(4) 回答期日 令和3年10月1日(金)

(5) 回答方法

上記(1)～(3)の調査票に必要事項(担当部署等)を記入の上、メールの場合は、ファイルを添付し、FAXの場合は、調査票のみFAX願います。

(6) 問合せ先

日本下水道事業団 研修センター 三浦・石川

〒335-0037 埼玉県戸田市下笹目5141

TEL 048-421-2692 FAX 048-422-3326

送付先

メールアドレス JS-KensyuC-common@jswa.go.jp

FAX番号 048-422-3326

日本下水道事業団 研修センター 研修企画課 担当 : 三浦・石川 宛	
都道府県名・市町村名	
所属部局 課・係名	
担当者 氏名	
TEL	

JS研修への参加予定の有無 該当欄を○で囲んで下さい。	1.あり	2.なし	3.未定
--------------------------------	------	------	------

※1.ありとお答えになった方は、下表の各コースの参加予定人数欄に人数を記入願います。

令和4年度研修計画素案

日本下水道事業団研修センター(埼玉県戸田市)で対面集合型式で実施を予定している研修

令和3年9月8日現在

コース名	専攻名	会場	回数	開始日	終了日	日数	単価	参加予定人数(人)
計画設計	下水道事業入門	戸田	1回	5月17日	5月20日	4	130,600	
	下水道事業の計画の策定・見直し	戸田	1回	6月14日	6月17日	4	130,600	
	下水道事業の計画の策定・見直し	戸田	2回	10月18日	10月21日	4	130,600	
	総合的な雨水対策	戸田	1回	7月26日	7月29日	4	130,600	
	浸水シミュレーション演習	戸田	1回	7月20日	7月20日	1	30,400	
	アセットマネジメント・ストックマネジメント(実務編)	戸田	1回	8月23日	8月26日	4	130,600	
	アセットマネジメント・ストックマネジメント(実務編)	戸田	2回	12月13日	12月16日	4	130,600	
	下水道事業の広域化・共同化	戸田	1回	2月7日	2月9日	3	119,000	
	下水道事業における危機管理と災害対策	戸田	1回	9月14日	9月16日	3	119,000	
	経営	受益者負担金	戸田	1回	5月24日	5月27日	4	130,600
下水道使用料		戸田	1回	11月29日	12月2日	4	130,600	
滞納対策		戸田	1回	12月13日	12月16日	4	130,600	
接続・水酸化促進と情報公開		戸田	1回	2月7日	2月10日	4	130,600	
実施設計	管きよ基礎	戸田	1回	6月8日	6月24日	17	226,200	
	管きよ設計 I	戸田	1回	7月25日	8月5日	12	198,400	
	管きよ設計 I	戸田	2回	9月5日	9月16日	12	198,400	
	管きよ設計 I	戸田	3回	11月28日	12月9日	12	198,400	
	管きよ設計 I	戸田	4回	1月23日	2月3日	12	198,400	
	管きよ設計 II【指定講習】	戸田	1回	6月29日	7月15日	17	226,200	
	管きよ設計 II【指定講習】	戸田	2回	8月24日	9月9日	17	226,200	
	管きよ設計 II【指定講習】	戸田	3回	10月12日	10月28日	17	226,200	
	管きよ設計 II【指定講習】	戸田	4回	11月30日	12月16日	17	226,200	
	管きよ設計 II【指定講習】	戸田	5回	1月18日	2月3日	17	226,200	
	推進工法	戸田	1回	8月1日	8月10日	10	177,300	
	推進工法	戸田	2回	10月19日	10月28日	10	177,300	
	管更生の設計と施工管理	戸田	1回	8月1日	8月5日	5	142,300	
	管更生の設計と施工管理	戸田	2回	9月26日	9月30日	5	142,300	
	設計照査(会計検査)	戸田	1回	11月14日	11月18日	5	142,300	
	排水設備工事の実務	戸田	1回	5月31日	6月3日	4	130,600	
	処理場設計 I	戸田	1回	6月6日	6月10日	5	142,300	
	処理場設計 II【指定講習】	戸田	1回	9月26日	10月7日	12	198,400	
	処理場設備の設計(機械設備)	戸田	1回	12月19日	12月23日	5	142,300	
	処理場設備の設計(電気設備)	戸田	1回	10月11日	10月14日	4	130,600	
設備の改築更新	戸田	1回	2月7日	2月9日	3	119,000		
工事監督管理	工事管理【指定講習】	戸田	1回	6月21日	7月1日	11	189,000	
維持管理	管きよの維持管理	戸田	1回	7月4日	7月15日	12	189,000	
	管きよの維持管理	戸田	2回	11月7日	11月18日	12	189,000	
	管きよの点検・調査	戸田	2回	1月30日	2月3日	5	142,300	
	処理場管理の基礎	戸田	1回	5月31日	6月3日	4	130,600	
	処理場管理 I	戸田	1回	7月5日	7月15日	11	189,000	
	処理場管理 I	戸田	2回	1月10日	1月20日	11	189,000	
	処理場管理 II【指定講習】	戸田	1回	9月7日	9月16日	10	177,300	
	処理場管理 II【指定講習】	戸田	2回	11月9日	11月18日	10	177,300	
	電気設備の保守管理	戸田	1回	7月20日	7月22日	3	119,000	
	省エネ法	戸田	1回	1月20日	1月20日	1	30,400	
	水質管理 I	戸田	1回	9月28日	10月7日	10	177,300	
	水質管理 II	戸田	1回	10月24日	10月28日	5	142,300	
	事業場排水対策	戸田	1回	8月24日	9月2日	10	177,300	
	水処理施設の管理指標の活かし方	戸田	1回	5月24日	5月25日	2	60,700	
水質管理のトラブル対応	戸田	1回	5月26日	5月27日	2	60,700		
官民連携・国際展開	処理場の包括的民間委託における契約手続きと履行確認	戸田	1回	11月24日	11月25日	2	60,700	

専攻名の後ろに【指定講習】とあるものは、指定講習となります。

【対象者限定コース】

研修カリキュラム再編に伴う参加者限定講座

維持管理	処理場管理 I (実習編)	戸田	1回			5	58,400	
	処理場管理 II (実習編)	戸田	2回			5	58,400	

※本専攻は、令和元年度に「維持管理コース 処理場管理 I (講義編)」を受講された研修生のみが対象となります。

注) 会場：戸田 日本下水道事業団研修センターにて実施いたします。宿泊は、研修センター内の宿泊施設の利用を想定しています。OL
オンラインにて実施いたします。また、オンデマンドに変更となる場合があります。

日本下水道事業団 研修センター 研修企画課 担当 : 三浦・石川 宛	
都道府県名・市町村名	
所属部局 課・係名	
担当者 氏名	
TEL	

JS研修への参加予定の有無 該当欄を○で囲んで下さい。 1.あり 2.なし 3.未定

※1.ありとお答えになった方は、下表の各コースの参加予定人数欄に人数を記入願います。

令和4年度研修計画素案

1. 日本下水道事業団研修センターがオンライン(ライブ配信)研修で開催を予定している研修

令和3年9月8日現在

コース名	専攻名	受講形態	回数	開始日	終了日	日数	単価	参加予定人数(人)
オンライン研修 基礎コース	オンライン研修 技術者のための「下水道財政と公営企業」	OL	1回	4月21日	4月21日	0.5	16,500	
	下水道担当職員初任者研修	OL	1回	4月26日	4月26日	0.5	16,500	
	下水道維持管理入門的研修	OL	1回	4月27日	4月27日	0.5	16,500	
	管きよ図面の見方(読み方)	OL	1回	5月17日	5月17日	0.5	16,500	
	処理場設備の基礎講座	OL	1回	5月25日	5月25日	0.5	16,500	
オンライン研修 計画設計	オンライン研修 下水道入門	OL	1回	5月24日	5月24日	1	27,500	
	下水道入門	OL	2回	7月15日	7月15日	1	27,500	
	アセットマネジメント・ストックマネジメント(処理場施設入門編)	OL	1回	7月6日	7月7日	2	58,300	
	アセットマネジメント・ストックマネジメント(管路施設入門編)	OL	1回	9月20日	9月21日	2	58,300	
	技術者のための企業会計—財務諸表活用法—	OL	1回	9月6日	9月7日	2	96,800	
オンライン研修 経営	オンライン研修 下水道の経営 ①(法令・財政編)	OL	1回	10月4日	10月4日	1	33,000	
	下水道の経営②(下水道使用料及び経営戦略編)	OL	2回	10月6日	10月6日	1	33,000	
	下水道の経営③(受益者負担金、滞納対策編)	OL	3回	10月18日	10月18日	1	33,000	
	下水道の経営④((企業会計の経理と消費税編)	OL	4回	10月20日	10月20日	1	33,000	
	企業会計—移行の準備と手続き— ①基礎編	OL	1回	5月13日	5月13日	1	27,500	
	企業会計—移行の準備と手続き— ②資産調査・評価業務編	OL	2回	5月20日	5月20日	1	27,500	
	企業会計—移行の準備と手続き— ③会計システム構築編	OL	3回	6月29日	6月29日	1	27,500	
	企業会計—移行の準備と手続き— ④庁内調整編	OL	4回	7月20日	7月20日	1	27,500	
	企業会計—移行の準備と手続き— ⑤質疑応答編	OL	5回	8月24日	8月24日	1	55,000	
	消費税 ①下水道事業における消費税	OL	1回	6月14日	6月14日	1	44,000	
	消費税 ②地方公営企業と消費税	OL	1回	6月16日	6月16日	1	44,000	
消費税 ③消費税算定事例(特定収入を含む)	OL	1回	8月23日	8月23日	1	44,000		
オンライン研修 実施設計	オンライン研修 鉄筋構造物と杭基礎のチェックポイント	OL	1回	未定	未定	1	33,000	
オンライン研修 工事管理	オンライン研修 コンクリート施工のチェックポイント	OL	1回	未定	未定	1	33,000	
オンライン研修 維持管理	オンライン研修 管きよの不明水対策	OL	1回	6月15日	6月15日	1	33,000	
オンライン研修 官民連携・国際展開	オンライン研修 官民連携	戸田	1回	6月7日	6月7日	1	27,500	
	官民連携・国際展開	戸田	1回	9月14日	9月14日	1	27,500	
	効果的な包括的民間委託の導入と課題(導入準備編)	戸田	1回	8月30日	8月30日	1	38,500	
	効果的な包括的民間委託の導入と課題(総合マネジメント編)	戸田	1回	8月31日	8月31日	1	38,500	
国際展開	管路施設の包括的民間委託	戸田	1回	2月9日	2月9日	1	27,500	

注) OL オンラインにて実施いたします。また、一部の講座は、オンデマンドに変更となる場合があります。

日本下水道事業団 研修センター 研修企画課 担当 : 三浦・石川 宛

都道府県名・市町村名
 所属部局 課・係名
 担当者 氏名
 TEL

JS研修への参加予定の有無 1.あり 2.なし 3.未定
 該当欄を○で囲んで下さい。

※1.ありとお答えになった方は、下表の各コースの参加予定人数欄に人数を記入願います。

令和4年度研修計画素案

2. 地方研修は、対面集合形態は、全国の10都市で実施予定。また、オンライン(ライブ配信)研修は、一部、オンデマンド研修に変更となる場合があります。

令和3年9月8日現在

コース名	新規など	専攻名	受講形態	会場	サブ専攻	回数	開催日	日数	単価	参加予定人数(人)
対面集合研修										
経営		下水道経営セミナー	対面集合	大宮	受益者負担金	1	4月26日	1	30,000	
経営		下水道経営セミナー	対面集合	福岡	受益者負担金	1	6月2日	1	30,000	
経営		下水道経営セミナー	対面集合	大宮	企業会計 決算書作成	1	2月1日	1	30,000	
経営		下水道経営セミナー	対面集合	大宮	企業会計 決算書作成	2	2月28日	1	30,000	
経営		下水道経営セミナー	対面集合	福岡	企業会計 決算書作成	1	2月21日	1	30,000	
経営		下水道経営セミナー	対面集合	大宮	決算と消費税	1	2月2日	1	30,000	
経営		下水道経営セミナー	対面集合	大宮	決算と消費税	2	3月1日	1	30,000	
経営		下水道経営セミナー	対面集合	福岡	決算と消費税	1	2月22日	1	30,000	
オンライン研修										
経営	●	下水道経営セミナー	OL		下水道経営入門	1	4月22日	1	28,600	
経営	●	下水道経営セミナー	OL		下水道経営入門	2	5月16日	1	28,600	
経営	●	下水道経営セミナー	OL		下水道経営入門	3	6月22日	1	28,600	
経営	●	下水道経営セミナー	OL		下水道使用料	1	4月27日	1	28,600	
経営	●	下水道経営セミナー	OL		下水道使用料	2	5月17日	1	28,600	
経営	●	下水道経営セミナー	OL		下水道使用料	3	6月23日	1	28,600	
経営	●	下水道経営セミナー	OL		受益者負担金	1	5月31日	1	28,600	
経営	●	下水道経営セミナー	OL		受益者負担金	2	6月8日	1	28,600	
経営	●	下水道経営セミナー	OL		受益者負担金	3	6月10日	1	28,600	
経営	●	下水道経営セミナー	OL		消費税(基礎)	1	7月6日	1	28,600	
経営	●	下水道経営セミナー	OL		消費税(基礎)	2	7月26日	1	28,600	
経営	●	下水道経営セミナー	OL		消費税(基礎)	3	8月2日	1	28,600	
経営	●	下水道経営セミナー	OL		滞納対策	1	7月13日	1	28,600	
経営	●	下水道経営セミナー	OL		滞納対策	2	7月28日	1	28,600	
経営	●	下水道経営セミナー	OL		滞納対策	3	8月4日	1	28,600	
経営	●	下水道経営セミナー	OL		決算書作成仕上の総点検	1	5月12日	1	28,600	
経営	●	下水道経営セミナー	OL		決算書作成仕上の総点検	2	5月18日	1	28,600	
経営	●	下水道経営セミナー	OL		企業会計 予算書作成	1	10月25日	1	28,600	
経営	●	下水道経営セミナー	OL		企業会計 予算書作成	1	11月1日	1	28,600	
経営	●	下水道経営セミナー	OL		企業会計 決算書作成	1	4月12日	1	28,600	
経営	●	下水道経営セミナー	OL		企業会計 決算書作成	2	4月19日	1	28,600	
経営	●	下水道経営セミナー	OL		企業会計 決算書作成	3	1月18日	1	28,600	
経営	●	下水道経営セミナー	OL		企業会計 決算書作成	4	1月24日	1	28,600	
経営	●	下水道経営セミナー	OL		企業会計 決算書作成	5	2月7日	1	28,600	
経営	●	下水道経営セミナー	OL		企業会計 決算書作成	6	2月14日	1	28,600	
経営	●	下水道経営セミナー	OL		決算と消費税	1	4月13日	1	28,600	
経営	●	下水道経営セミナー	OL		決算と消費税	2	4月20日	1	28,600	
経営	●	下水道経営セミナー	OL		決算と消費税	3	1月19日	1	28,600	
経営	●	下水道経営セミナー	OL		決算と消費税	4	1月25日	1	28,600	
経営	●	下水道経営セミナー	OL		決算と消費税	5	2月8日	1	28,600	
経営	●	下水道経営セミナー	OL		決算と消費税	6	2月15日	1	28,600	
設計		下水道設計セミナー	対面集合	大宮	下水道管路施設の設計	1	5月20日	1	30,000	
設計		下水道設計セミナー	対面集合	広島	下水道管路施設の設計	1	7月8日	1	30,000	
設計		下水道設計セミナー	対面集合	福岡	下水道管路施設の設計	1	7月14日	1	30,000	
設計		下水道設計セミナー	対面集合	仙台	下水道管路施設の設計	1	8月10日	1	30,000	
維持管理		下水道維持管理セミナー	対面集合	福岡	基礎から学べる下水処理場の維持管理	1	5月12日	1	30,000	
維持管理		下水道維持管理セミナー	対面集合	福岡	下水道管路施設の維持管理	1	5月13日	1	30,000	
維持管理		下水道維持管理セミナー	対面集合	大宮	下水道管路施設の維持管理	1	5月18日	1	30,000	
維持管理		下水道維持管理セミナー	対面集合	大宮	基礎から学べる下水処理場の維持管理	1	5月19日	1	30,000	
維持管理		下水道維持管理セミナー	対面集合	盛岡	基礎から学べる下水処理場の維持管理	1	6月9日	1	30,000	
維持管理		下水道維持管理セミナー	対面集合	盛岡	下水道管路施設の維持管理	1	6月10日	1	30,000	
維持管理	●	下水道維持管理セミナー	対面集合	広島	課題解決!維持管理のベストアンサー	1	7月7日	1	30,000	
維持管理	●	下水道維持管理セミナー	対面集合	仙台	課題解決!維持管理のベストアンサー	1	8月9日	1	30,000	
維持管理	●	下水道維持管理セミナー	対面集合	神戸	課題解決!維持管理のベストアンサー	1	9月27日	1	30,000	
維持管理		下水道維持管理セミナー	対面集合	神戸	処理場設備のマネジメント	1	9月28日	1	30,000	
維持管理		下水道維持管理セミナー	対面集合	熊本	基礎から学べる下水処理場の維持管理	1	10月20日	1	30,000	
維持管理		下水道維持管理セミナー	対面集合	熊本	処理場設備のマネジメント	1	10月21日	1	30,000	
維持管理		下水道維持管理セミナー	対面集合	長野	基礎から学べる下水処理場の維持管理	1	11月1日	1	30,000	
維持管理		下水道維持管理セミナー	対面集合	長野	下水道管路施設の維持管理	1	11月2日	1	30,000	
維持管理		下水道維持管理セミナー	対面集合	京都	基礎から学べる下水処理場の維持管理	1	11月10日	1	30,000	
維持管理		下水道維持管理セミナー	対面集合	京都	下水道管路施設の維持管理	1	11月11日	1	30,000	
維持管理	●	下水道維持管理セミナー	対面集合	名古屋	課題解決!維持管理のベストアンサー	1	12月1日	1	30,000	
維持管理		下水道維持管理セミナー	対面集合	名古屋	処理場設備のマネジメント	1	12月2日	1	30,000	
維持管理		下水道維持管理セミナー	対面集合	岡山	基礎から学べる下水処理場の維持管理	1	12月15日	1	30,000	
維持管理		下水道維持管理セミナー	対面集合	岡山	下水道管路施設の維持管理	1	12月16日	1	30,000	

(注) (1) 新規などの欄の●は新規研修となります。

(2) 掲載分は、現時点での予定であり、状況により変更となる場合があります。

注) ①本票は、当事業団ホームページからもダウンロードできます。(https://www.jswa.go.jp/)

②専攻名・日数・金額は、現時点での案であり、今後予告無く変更することがあります。

令和4年度 JS研修センターに関する意見要望

F	A	X	送	信	表
メールアドレス : JS-KensyuC-common@jswa.go.jp					
FAX番号		048-422-3326			
JS研修センター		研修企画課担当 : 三浦・石川 宛			

都道府県名・市町村名	
所属部局課・係名	
担当者氏名	
TEL	

1. 今後新たに実施を希望される研修テーマ、教科目があればお聞かせ下さい。

(名称)	
(内容)	
(時期)	

2. 令和4年度研修予算の確保状況についてお聞かせ下さい。(以下○を記入して下さい)

①	令和3年度と同額程度を確保予定
②	令和3年度より減額予定 ()%減
③	令和3年度より増額予定 ()%増

3. JS研修の受講は、人材育成を行ううえで役に立ちましたか。(以下○を記入して下さい)

①	役に立った
②	少し役に立った
③	あまり役に立たない
④	役に立たない
⑤	JS研修未受講
・コメントがあれば下記に記載してください	

4. 令和4年度については、新寮室棟が完成し、本館棟との2棟の宿泊施設で運用します。新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、研修センターの本館棟の宿泊施設の収容人数を1/2程度に絞り運用していきます。また、感染症対策のためオンライン研修の講座を新規に開催しました。オンライン研修のメニューを多様化する方向で考えています。ご意見をお聞かせください。

①	戸田での開催が望ましい
②	オンライン研修+戸田研修の複合研修は望ましい
③	オンライン研修のメニューを充実して欲しい
④	いずれでも構わない
・コメントがあれば下記に記載してください	

5. 新型コロナウイルス感染拡大により、オンライン研修が各方面で実施されていますが、研修センターにおいて実施している戸田研修及び地方研修等についてオンライン研修を導入することの可否についてご意見をお聞かせください。

戸田研修(長期研修 研修センターで実施)	
①	集合研修が望ましい
②	オンライン研修が望ましい
③	いずれでも構わない
④	その他 (
地方研修等(短期研修 外部の会議室等で実施)	
①	集合研修が望ましい
②	オンライン研修が望ましい
③	いずれでも構わない
④	その他 (
・コメントがあれば下記に記載してください	

6. JS研修は、多くの地方自治体からの講師としてのご協力により、成り立っております。貴自治体において講師としてご協力いただけるような技術分野、新たな取り組み等がございましたら下記に記載してください。

①	あり	具体的に記載ください
②	なし	
③	すでにご協力している。	
・コメントがあれば下記に記載してください		

7. JS研修は、オンライン研修での基礎的なコースを設けました。これらの研修は、下水道課に初めて配属された職員の研修プログラムとして活用いただければと考えています。その他、追加を望む分野がございましたら下記に記載してください。

①	あり	具体的に記載ください
②	なし	
・コメントがあれば下記に記載してください		

7. JS研修は、集合対面形式の受講形態を基本としています。コロナ禍の中で交流の機会が減っているという意見が寄せられています。戸田研修において交流の機会を増やすご提案があれば、下記に記載してください。

①	あり	具体的に記載ください
②	なし	
・コメントがあれば下記に記載してください		

8. 日本下水道事業団の研修のあり方についてご意見、ご要望がありましたらお聞かせ下さい。

ご協力いただきまして有難うございました。

令和3年度 下水道技術検定等活用状況調査表

JS-KensyuC-common@jswa.go.jp

FAX番号 048-422-3326

都道府県名

市町村等名

この調査は、地方共同法人日本下水道事業団が毎年度実施している下水道技術検定及び下水道管理技術認定試験について、貴縣市町村等においてどのように活用されているか調査するものです。

お忙しいところ申し訳ありませんが、何卒ご協力をお願いします。

1. 下水道技術検定及び下水道管理技術認定試験の活用状況について、該当する箇所に○印をお願いします。

	試験区分	業者登録要件として活用	競争参加資格として活用	技術提案等の際の加点対象として活用	特になし	その他、活用している事例がありましたら具体的に記載してください
下水道技術検定	第1種	設計・工事・役務	設計・工事・役務	設計・工事・役務		
	第2種	設計・工事・役務	設計・工事・役務	設計・工事・役務		
	第3種	設計・工事・役務	設計・工事・役務	設計・工事・役務		
下水道管理技術認定試験	管路施設	設計・工事・役務	設計・工事・役務	設計・工事・役務		

【記載例】

	試験区分	業者登録要件として活用	競争参加資格として活用	技術提案等の際の加点対象として活用	特になし	その他、活用している事例がありましたら具体的に記載してください
下水道技術検定	第1種	設計・工事・役務	設計・工事・役務	設計・工事・役務	○	下水道施設の管理業務委託で、現場管理者を選任する要件の一つとして活用している。
	第2種	設計・工事・役務	設計・工事・役務	設計・工事・役務		
	第3種	設計・工事・役務	設計・工事・役務	設計・工事・役務		
下水道管理技術認定試験	管路施設	設計・工事・役務	設計・工事・役務	設計・工事・役務		

2. 試験合格者に対して定期的な更新制度、継続学習制度(試験あるいは研修)が必要とお考えですか」

	試験区分	定期的な更新制度・継続学習制度の必要性	その他、更新制度・継続学習制度についてご意見があれば具体的に記載してください
下水道技術検定	第1種	必要・不要・その他	
	第2種	必要・不要・その他	
	第3種	必要・不要・その他	
下水道管理技術認定試験	管路施設	必要・不要・その他	

3. 下水道技術検定等全般についての質問事項です。

今後、技術検定等試験に求めるもの、期待すること、その他ございましたら、ご自由に記入してください。

ご協力いただきましてありがとうございました。

下水道技術検定及び下水道管理技術認定試験について

下水道の設計、工事の監督管理及び維持管理については、下水道法及び下水道法施行令により、学歴に応じた一定の下水道実務経験を有する者に行わせなければならない、事業を実施するにはこのような有資格者を確保する必要があります。下水道技術検定は、有資格者の早期確保などを目的に創設された制度で、合格した場合下水道法第22条の資格取得について必要とされる実務経験年数を短縮する特例が認められています。検定区分及び対象は下表のとおりです。

区分及び対象

区分	検定の対象
第1種	下水道の計画設計を行うために必要とされる技術
第2種	下水道の実施設計及び工事の監督管理を行うために必要とされる技術
第3種	下水道(処理施設、ポンプ施設)の維持管理を行うために必要とされる技術

下水道管理技術認定試験は、下水道管路施設の維持管理業務に従事する技術者の技術力を公平に判定し認証することにより、管路施設維持管理の健全な発展と技術者の技術水準の向上を図り、もって下水道の適正な維持管理に資することを目的とした制度です。試験区分及び対象は下表のとおりです。

区分及び対象

区分	試験の対象
管路施設	管路施設の維持管理を適切に行うために必要とされる技術

令和4事業年度研修コース別教科内容(案)

【研修センターで実施する全寮制のコースです。】

研修センター(埼玉県戸田市)等で実施するものとして以下の講座を設けることを検討しています。ゴシック体は新規或いはリニューアル専攻です。

コース	専攻	研修期間	研修対象者	教科内容	研修成果
計 画 設 計	下水道事業入門 (初級)	4	新たに下水道に携わる事務職及び技術職	1. 下水道処理施設、排水施設の基礎 2. 下水道財政と課題 3. 下水道法と関連法規 4. 施設研修(管内歩行とマンホール入孔体験)	下水道事業の基礎知識を得て、事業全般の概要を把握する
	下水道事業の計画の策定・見直し (中級)	4	下水道事業の計画の策定・見直しを担当する職員	1. 流域別下水道整備総合計画の基本的事項の解説 2. 雨水管における基本的計画の解説 3. 水処理・汚泥処理における計画策定の解説 4. 広域化の先進事例紹介	経営・法律など下水道事業の基礎を理解したうえで、事業計画の骨格となる都道府県構想や流総計画を学び、さまざまな処理システムを取り入れた事業計画を検討するための演習・ディスカッションなどを通じて実務能力の向上を図る
	総合的な雨水対策 (中級)	4	雨水対策に関する知識の習得を希望する職員	1. 実際の雨水整備の事例紹介 2. 水文学・雨水排除計画(管きょ・貯留施設)策定の解説及び演習 3. 雨水流出抑制の解説 4. 雨水流出量解析の解説と演習	雨水対策事業の概要を確認したうえで、計画の立案や流出解析の手法を理解し、ハードからソフトまでの具体的な取り組みについて学ぶ
	浸水シミュレーション演習 (特別)	1	浸水シミュレーションの知識の習得を希望する職員	1. 流出解析モデルの解説 2. シミュレーションソフトを使用した演習	ストックを活用した効率的な浸水対策に不可欠な浸水シミュレーションについて、その基礎と実際について学び、効率的な雨水管理計画策定について学ぶ
	アセットマネジメント・ ストックマネジメント(実務編) (特別)	4	下水道事業のアセットマネジメントに関心のある職員 下水道施設の計画等を担当し、下水道施設のストックマネジメント計画を理解したい人	1. アセットマネジメント導入の必要性と基本的な考え方及びストックマネジメント支援制度について解説 2. アセットマネジメント・ストックマネジメントの導入・実践に際しての課題の整理 3. 段階的なアセットマネジメントの導入手法(アセットマネジメント導入計画)について解説 4. 下水道管きょのストックマネジメント手法について解説 5. 下水処理場、ポンプ場のストックマネジメント手法について解説 6. アセットマネジメントの先進事例を学ぶ	厳しい財政状況のなかで膨大な下水道施設を適正・効率的に管理していくために、アセットマネジメントの概要、導入効果を理解し、ストックマネジメント計画策定のために必要な事項を学ぶ
	下水道事業の広域化・共同化 (特別)	3	下水道の広域化の導入を担当する職員	1. 下水道事業における現状及び今後の課題とそれらへの対応策としての広域化等に関する政策的な取り組み、今後の国の動向について解説 2. 財政・人材の制約の中で、執行体制を確保するための補完体制、人材育成等の課題及び対策についての解説 3. 広域化への取り組みについての先進事例の紹介	広域化・共同化の導入について理解するとともに、下水道施設と農業集落排水施設等との維持管理の共同化、広域的な連携を目指した協議会制度の活用等の事例を通じて広く知識を習得する。
	下水道事業における危機管理と災害 対策 (特別)	3	地方公共団体職員で下水道の危機管理対策に従事する職員	1. 危機管理対策に関連した今後の下水道事業のあり方について解説 2. リスクマネジメントの基礎について理解する 3. 震災の発生から初動・先遣と管きょの一次・二次調査について実例を交えて解説 4. 下水道のBCPや総合地震対策計画の策定についての事例解説	具体的な事例の紹介・解説を通じて、大規模地震や浸水等への備えと災害発生時及びその後の対応等について学ぶとともに下水道業務継続計画に基づく図上訓練を一部体験し、下水道事業における危機管理に関する理解を深める。
経 営	下水道使用料 (中級)	4	下水道使用料の算定業務を担当する職員	1. 下水道事業の建設財源、下水道管理費及び受益者負担金制度、下水道使用料について解説 2. 下水道使用料算定のポイント解説及び下水道使用料の算定演習 3. 下水道使用料に関する様々な事例の検討と解説	下水道使用料の仕組みについて理解するとともに、事例研究や算定演習を通じて広く知識を取得し、使用料算定業務について学ぶ
	受益者負担金 (中級)	4	下水道の受益者負担金等の算定及び徴収業務を担当する職員	1. 受益者負担金の問題点と現状における対応 2. 受益者負担金の事例解説と算定解説 3. 受益者負担金の徴収率向上と滞納対策について	受益者負担金について理解するとともに、事例研究や算定演習を通じて広く知識を習得する
	滞納対策 (特別)	4	受益者負担金及び下水道使用料の賦課・徴収業務を担当する職員	1. 収納率向上及び滞納対策の取組事例解説 2. 差押調書の作成時期や作成方法について解説 3. 市町村における実際の滞納対策の事例解説など	受益者負担金及び下水道使用料の収納率の向上に向け、使用料等の性格を正しく理解し、滞納者に対して適切な滞納処分を行うことができる
	接続・水酸化促進と情報公開 (中級)	4	下水道普及促進や接続・水酸化を進めるための広報活動や受益者負担金、使用料等について住民への周知を担当する職員	1. 下水道への適正な接続促進を図る方法について解説 2. 不正配管対策の事例紹介と解説 3. 市町村の接続・水酸化促進を進めるに当たり問題となる事例の解説	下水道の広報活動について理解するとともに、講義や事例を通じて広く情報公開のあり方について学ぶ

令和4事業年度研修コース別教科内容(案)

【研修センターで実施する全寮制のコースです。】

研修センター(埼玉県戸田市)等で実施するものとして以下の講座を設けることを検討しています。ゴシック体は新規或いはリニューアル専攻です。

コース	専攻	研修期間	研修対象者	教科内容	研修成果
実施設計	管きょ基礎 (初級)	17	はじめて下水道の実務を行うことになり、開削工法による管きょの設計技術の習得を希望する職員(土木職以外も含む)	1. 下水道の基礎的な知識に関連する用語の解説 2. 汚水・雨水の流量計算、管きょの断面・勾配の決定等の演習 3. 設計上必要な路線測量・水準測量を実習し、設計図を作成 4. 流量計算・測量等の成果に基づいて、枝線管きょの実施設計の演習を行ない、成果品を提出	下水道管きょ設計の基礎知識を得て、開削工法による管きょ工事の設計ができる
	管きょ設計Ⅰ (初級)	12	下水道の実務経験が浅く、開削工法による管きょの設計技術の習得を希望する職員(土木職以外も含む)	1. 下水道全般の基本的解説 2. 管きょ施設の構造、基礎工の選定等に関する解説と演習 3. 開削工法における土留め工法の解説 4. 現場踏査と設計図面の作成演習など	下水道管きょ設計の基礎知識を得て、開削工法による管きょ工事の設計ができる
	管きょ設計Ⅱ (中級) <指定講習>	17	2. 5年以上の関連インフラ(下水道、上水道、工業用水道、河川、道路)の実務経験を有し、その内1. 5年以上の下水道の実務経験を有する職員、または同程度の技術を有する職員で、管きょ設計技術の習得を希望する職員	1. 下水道計画、耐震設計、管路施設の実施設計の問題点と解決方法 2. 管きょ施工法・補助工法の選択 3. 推進工法の積算演習など	下水道法第22条に定める管きょ設計の資格者として適切な工法の決定及び設計ができる(下水道法施行規則第17条6号による指定講習)
	推進工法 (中級)	10	下水道の実務経験を有し、小口径管及び中大口径管推進工法の設計に関する知識・技術の習得を希望する職員	1. 推進工法の特徴と採用の留意点及び土質、施工環境等の条件による最適工法の選択を解説 2. 推進工法設計時における調査・工法及び管種、管きょに及ぼす土圧、推進力、支圧壁の考え方の解説 3. 設計積算演習など	小口径管及び中大口径管推進工法全般について理解し、設計及び積算を行うことができる
	管更生の設計と施工管理 (中級)	5	下水道の実務経験を有し、管きょの改築に関する知識と技術の習得を希望する職員	1. 管きょの調査・点検・診断及び管きょの長寿命化・改築更新計画の考え方について解説、および最新の修繕・改築工法と工法選定について解説 2. 反転・形成工法と設計積算の解説と演習 3. 更生工法の施工管理上の留意点と新技術の紹介など	管きょ更生全般について理解し、管更生の設計・積算及び施工管理を行うことができる
	設計照査(会計検査) (中級)	5	会計検査を受験予定の職員 土木職等で、土木構造物設計の設計照査等を行う職員	1. 会計検査の役割と最近の検査報告の解説 2. 鉄筋コンクリート構造物における照査方法と事例解説 3. 下水道施設、地盤改良工法、及び管きょ構造物の設計照査の事例解説	実施設計における設計照査を習得し、設計成果品等の検収を適切に行い、会計検査に対応できる また複雑な土木構造物設計の設計照査について、理解を深める
	排水設備工事の実務 (特別)	4	新たに排水設備の担当になった職員及び維持管理経験の浅い職員	1. 排水設備の概要と課題について解説 2. 排水設備の設計演習 3. 排水設備工事責任技術者指導のポイントを学ぶ	排水設備全般にわたる知識を習得し、排水設備指定工事店への適切な指導ができる
	処理場設計Ⅰ (初級)	6	下水道の実務経験が浅く、基本的な処理場設計技術の習得を希望する職員	1. 水処理及び汚泥処理の施設設計の基礎について解説 2. 高度処理の各処理法と施設設計の基礎について解説 3. 水処理・汚泥処理施設(場内ポンプ場、管理棟、最初・最終沈殿池、反応タンク、濃縮タンク、消化タンク等)の容量計算及びグループ演習	処理場の基礎知識を得て、設計業務に携わることができる
	処理場設計Ⅱ (中級) <指定講習>	12	5年以上の関連インフラ(下水道、上水道、工業用水道、河川、道路)の実務経験を有し、その内2. 5年以上の下水道の実務経験を有する職員、または同程度の技術を有する職員	1. 処理施設の水処理、汚泥処理の設計指針の解説 2. 施設の高度処理対応と改築対象物・改築計画・長寿命化計画などの改築計画の解説 3. 処理施設の設計に必要な水理と水位計算演習 4. 処理場施設における水処理、汚泥処理施設の設計及び演習と施設配置計画について演習を行う	下水道法第22条に定める処理場又はポンプ場の設計の資格者として、コンサルタントを指導し実施設計ができる(下水道法施行規則第17条6号による指定講習)
	処理場設備の設計 (機械設備) (中級)	4	下水処理場の機械設備の設計を担当する職員	1. 下水処理場の概要と機械設備設計の基礎知識の解説 2. 機器承諾及び設備施行管理における留意点、耐震強度などのチェックポイント 3. 処理場・ポンプ場における機械設備工事の積算体系解説及び積算演習、会計実地検査について	ポンプ場及び処理場の機械設備の設計ができる
	処理場設備の設計 (電気設備) (中級)	4	下水処理場の電気設備の設計を担当する職員	1. 電気設備の基本計画と詳細設計 2. 処理場の電気設備の設計・積算演習 3. 電気設備改築の立案と留意点について解説	ポンプ場及び処理場の電気設備の設計ができる
	設備の改築更新 (中級)	3	処理場・ポンプ場の計画・設計・維持管理を担当する職員	1. ストックマネジメント支援制度についての解説 2. 機械・電気設備の改築更新計画のポイントの解説 3. 仮設を伴う改築更新事例の解説	ストックマネジメントを理解し、処理場・ポンプ場設備の改築更新計画の立案を行うことができる

令和4事業年度研修コース別教科内容(案)

【研修センターで実施する全寮制のコースです。】

研修センター(埼玉県戸田市)等で実施するものとして以下の講座を設けることを検討しています。ゴシック体は新規或いはリニューアル専攻です。

コース	専攻	研修期間	研修対象者	教科内容	研修成果
工 事 監 督	工事管理 (中級) <指定講習>	11	2. 5年以上の関連インフラ(下水道、上水道、工業用水道、河川、道路)の実務経験を有し、その内1. 5年以上の下水道の実務経験を有する職員、または同程度の技術を有する職員	1. 地盤改良工法の概要及び土留め工法の技術概要と施工管理の留意点 2. コンクリート配合設計の演習とコンクリート施工管理のポイント 3. 土質試験に関する各種試験の実習と施工等におけるデータの活用の仕方 4. 工事管理手法と工程管理の演習	下水道法第22条に定める工事監督の資格者として、工事管理を行う際に必要となる知識や技術を取得し、工事現場の適切な管理と指導ができる(下水道法施行規則第17条6号による指定講習)
	管きよの維持管理 (初級)	12	管路施設の維持管理を担当する職員	1. 点検・調査・清掃等管きよの維持管理計画策定の考え方について解説 2. 管路施設の詳細調査点検・診断の解説と実習 3. 排水設備の設計演習並びに指導、検査方法および排水設備と管路施設の維持管理との関わりについて解説 4. 管きよのしゅんせつ・清掃の判定基準の解説と設計演習	管路の維持管理及び点検・調査計画、排水設備の設置、不明水対策等下水道整備区域全般にわたる管路施設の適切な維持管理ができる
維 持 管 理	管きよの点検・調査 (特別)	5	管路施設の維持管理を担当する職員	1. 管きよの点検・調査計画 2. 管きよの保全実務 3. 管路施設の詳細調査、点検・診断の解説と実習	管路の維持管理及び点検・調査計画、不明水対策等下水道整備区域全般にわたる管路施設の適切な維持管理ができる。
	処理場管理の基礎 (初級)	4	処理場の維持管理を担当する職員で、基礎的な知識の習得を希望する職員	1. 下水処理場の維持管理の概要と基礎知識の解説 2. 水処理及び汚泥処理の原理と特徴の解説 3. 処理場設備(機械・電気設備)の管理と保全の概説	下水処理施設のしくみを把握し、処理場の維持管理業務の概要を学ぶ
	処理場管理 I (初級)	11	処理場の維持管理を担当する職員で、基本的な知識・技術の習得を希望する職員	1. 水処理、汚泥処理の原理と特徴の解説 2. COD、透視度、MLSSならびに汚泥等の日常管理項目の分析 3. 機械・電気設備の維持管理における基本的事項 4. 水質実習、電気回路実習、汚泥脱水実習など	処理施設を把握し、実習を通して処理場の維持管理技術を習得できる
	処理場管理 I (初級) (実習編)	5	処理場の維持管理を担当する職員で、基本的な知識・技術の習得を希望する職員	1. 水質実習(COD、透視度、MLSSならびに汚泥等の日常管理項目の分析) 2. 電気回路組み立て実習(電気回路及びシーケンス制御の基礎及び演習) 3. 汚泥脱水実習(汚泥脱水解説及びベルトプレス試験機による汚泥脱水実習と分析) 4. 処理場設備の保全計画の解説	処理施設を把握し、実習を通して処理場の維持管理技術を習得できる
	処理場管理 II (中級) <指定講習>	10	5年以上の関連インフラ(下水道、工業用水道、し尿処理施設)の実務経験を有し、その内2. 5年以上の下水道の実務経験を有する職員または同程度の技術を有する職員	1. 事業場排水の下水道への影響とその対策について解説 2. 処理場における水質管理及び汚泥管理の実際と異常時対策 3. 水質及び設備トラブル対応解説など 4. 処理場管理運営の実例を研究及び実処理場の管理運営の実態について学習	下水道法第22条に定める処理場及びポンプ場の維持管理資格者として業務に従事することができる(下水の処理開始の公示事項等に関する省令第2条の2第6号による指定講習)
	電気設備の保守管理 (中級)	3	処理場の維持管理担当職員で電気設備の管理に関する専門の知識・技術の習得を希望する職員	1. 電気設備の管理について解説 2. 電気設備の保護継電器試験実習 3. 処理場設備保守点検委託の概要など	処理場・ポンプ場の電気設備技術について専門の知識・技術を習得する
	省エネ法入門 (初級)	1	処理場の維持管理担当職員でエネルギー管理に関する専門の知識・技術の習得を希望する職員	1. 省エネ法の概要 2. 処理場設備の省エネ手法 3. エネルギー管理標準(管理マニュアル)の作成方法など	省エネ法、温対法の概要について理解し、各種届出、提出書類についてポイントを習得し実務に生かせる。
	水質管理 I (初級)	10	処理場の水質管理を担当する職員及び処理場設備の保守管理を担当する職員	1. 水処理・汚泥処理の基礎と理論 2. 水質実習 3. 水質管理演習	処理場の維持管理に必要な水質分析及び水質管理に関し、維持管理業務受託者に対し、水質管理の助言、指導ができる
	水質管理 II (中級)	5	処理場の水質管理を担当する職員	1. 水質トラブルへの対応について解説 2. 水質管理理論(生物相からみた下水処理) 3. 窒素、りん処理管理演習など	高度処理を中心として、処理場の水質管理の向上を図るとともに、水質管理上発生する諸問題について、理論的考察に基づき原因を究明して適切な対策処置を取ることができる

令和4事業年度研修コース別教科内容(案)

【研修センターで実施する全寮制のコースです。】

研修センター(埼玉県戸田市)等で実施するものとして以下の講座を設けることを検討しています。ゴシック体は新規或いはリニューアル専攻です。

コース	専攻	研修期間	研修対象者	教科内容	研修成果
維持管理	事業場排水対策 (中級)	10	事業場の排水の指導・検査を担当する職員	1. 事業場排水指導の概要 2. 違反事業場に対する措置 3. 事業場排水指導の実務演習など	事業場排水及び除害施設の検査・監督指導ができる
	水処理施設の管理指標の活かし方 (特別)	2	下水処理場において水処理、汚泥処理等の維持管理を担当する職員	1. 活性汚泥法の浄化原理 2. 管理指標詳解 3. 管理指標活用演習 4. 運転計画作成演習	活性汚泥法の反応タンクの管理指標と活用方法について学ぶ 汚泥返送比、MLSS、SRTなどが及ぼす水処理への効果を理解する
	水質管理のトラブル対応 (特別)	2	下水処理場において水処理、汚泥処理等の維持管理を担当する職員	1. 処理場設計諸元と水質管理 2. トラブルの発生原因と対策 3. 水処理トラブル 4. 汚泥処理トラブル	活性汚泥法において発生する水処理及び汚泥処理トラブル対策について学ぶ
官民国際連携	包括的民間委託における履行確認 (特別)	2	包括的民間委託を担当する職員	1. 業務評価のポイント 2. 包括的民間委託の事例研究 3. 受託者側からみた包括的民間委託制度の課題	包括的民間委託において履行確認及び業務評価を実施する際のポイントを習得する

令和4事業年度研修コース別教科内容(案)

【オンライン研修で実施するコースです。】

オンライン研修で実施するものとして以下の講座を設けることを検討しています。ゴシック体は新規或いはリニューアル専攻です。

コース	専攻	研修期間	研修対象者	教科内容	研修成果
基礎的 コース	下水道担当職員初任者研修(基礎)	0.5	新入社員や人事異動により新たに下水道業務を担当する方	1. 下水道の役割 2. 下水道の歴史 3. 下水道の種類と他の汚水処理施設 4. 下水道の経営	下水道事業に携わるための基礎的な知識を短時間で習得することができる
	下水道維持管理入門的研修(基礎)	0.5	これまで下水道の維持管理に関わりがなかった方など、維持管理に関する基本的な知識や技術を学ぶたい方	維持管理を実施して行くうえで必要な法令、専門用語、水処理及び汚泥処理の仕組み	下水道の維持管理に事業に携わるための基礎的な知識を短時間で習得することができる
	管きよ図面の見方(読み方)(基礎)	0.5	下水道管路施設の担当で管きよの図面に初めて接する方	道路に敷設された管きよのマッピング図面の表示記号等のルール及び意味・種類を理解する	管きよのマッピング図面を読み解く力を養い実際の業務の効率化に資する
	処理場設備の基礎講座(基礎)	0.5	下水処理場の維持管理に初めて携わる方で機械設備及び電気設備の管理等の担当の方	下水処理場で水をきれいにする機械設備及びその動力供給を行う電気設備等の機能と役割等について理解する	下水処理場で水をきれいにするために活躍している各機械設備の名称やその設備の機能について学び、今後の維持管理に役立つことができる
オンライン 計画設計 コース	下水道入門(初級)	1	下水道に関する基礎知識を学びたい方。	下水道業務を行う際の下水道用語、処理場の機能と役割等の下水道全般にわたって基礎知識を理解し、今後の実務に役立てることができる。	下水道事業の基礎知識を得て、事業全般の概要を把握する
	アセットマネジメント・ストックマネジメント(入門編)(処理施設編)(初級)	2	下水道の実務経験が浅く、下水処理場のアセットマネジメントの導入に関する知識の習得を希望する職員	1. アセットマネジメント導入の必要性と基本的な考え方及びストックマネジメント支援制度等のための施策等について解説 2. 施設情報の効率的な収集と整理に関するポイントを解説 3. リスク、コスト、機能のバランスの取れた効率的なマネジメントのための、データの収集、蓄積と活用について解説するとともに簡単な分析演習を行う。	厳しい財政状況のなかで膨大な下水道施設を適正・効率的に管理していくために、アセットマネジメント・ストックマネジメント導入のための基礎的な知識を学び、データの収集・蓄積と活用方法について学ぶ。
	アセットマネジメント・ストックマネジメント(入門編)(管路施設編)(初級)	2	下水道の実務経験が浅く、下水道管路施設のアセットマネジメントの導入に関する知識の習得を希望する職員	1. アセットマネジメント導入の必要性と基本的な考え方及びストックマネジメント支援制度等のための施策等について解説 2. 施設情報の効率的な収集と整理に関するポイントを解説 3. 改正下水道法による維持修繕基準に基づく、効率的な管きよの点検調査計画の構築について解説 4. リスク、コスト、機能のバランスの取れた効率的なマネジメントのための、データの収集、蓄積と活用について解説するとともに	厳しい財政状況のなかで膨大な下水道施設を適正・効率的に管理していくために、アセットマネジメント・ストックマネジメント導入のための基礎的な知識を学び、データの収集・蓄積と活用方法について学ぶ。
	技術系職員のための公営企業会計(入門編)(初級)	2	会計の知識に詳しくないが、公営企業会計を学びたい技術系職員(事務系職員も可能)	1. 公営会計の基本的事項の解説 2. 財務諸表の構成、利活用の解説 3. 財務諸表の見方の解説 4. 実務者の公営会計利用方法について解説する。 5. 経営指標を基にした事業の経営状況の比較	経営基盤の強化や財政マネジメント向上のためには財務諸表を読み解く知識が欠かせなくなっています。財務諸表の知識、読み解く力を学び、今後の経営計画や経営戦略の策定に反映することができる
オンライン 経営コース	下水道の経営①(法令・財政編)	1	下水道事業の経営全般に関する基礎的な知識を習得しようとする職員	1. 下水道法に基づく下水道、下水道法の体系 2. 下水道事業の経営原則、財政のしくみ 3. 下水道事業における経営課題	下水道の経営について理解するとともに、多くの事例を通じ、経営に役立つ知識を習得
	下水道の経営②(下水道使用料及び経営戦略編)	1	下水道事業の経営全般に関する基礎的な知識を習得しようとする職員	1. 下水道使用料算定の考え方 2. 経営戦略の策定・改定に当たった基本的な考え方 3. 「投資・財政計画」の策定、効率化・経営健全化の取組等	下水道の経営について理解するとともに、多くの事例を通じ、経営に役立つ知識を習得

令和4事業年度研修コース別教科内容(案)

【オンライン研修で実施するコースです。】

オンライン研修で実施するものとして以下の講座を設けることを検討しています。ゴシック体は新規或いはリニューアル専攻です。

コース	専攻	研修期間	研修対象者	教科内容	研修成果
オンライン経営コース	下水道の経営③ (受益者負担金、滞納対策編)	1	下水道事業の経営全般に関する基礎的な知識を習得しようとする職員	1.受益者負担金の制度及び滞納対策 2. 受益者負担金の賦課手続き、賦課と徴収 3.滞納対策マニュアルの説明	下水道の経営について理解するとともに、多くの事例を通じ、経営に役立つ知識を習得
	下水道の経営④ (企業会計の経理と消費税編)	1	下水道事業の経営全般に関する基礎的な知識を習得しようとする職員	1.下水道事業における企業会計 2. 企業会計の予算編成、決算整理 3.下水道事業における消費税	下水道の経営について理解するとともに、多くの事例を通じ、経営に役立つ知識を習得
	企業会計 一移りの準備と手続き① (基礎編)	1	地方公共団体で下水道事業を企業会計に移行する業務を担当する方	1.基本方針の設定(事業概要、業務の目的) 2. 公営企業法適用の必要性、公営企業法適用の効果 3.移行作業手順、移行スケジュール	企業会計に移行するための基礎知識を正しく修得し、効率的な事業の執行を行うことができる。
	企業会計 一移りの準備と手続き② (資産調査・評価業務編)	1	地方公共団体で下水道事業を企業会計に移行する業務を担当する方	1.資産整理方針と管理単位 2. 資産の評価方針、間接費の取扱、減価償却の方法 3.資産評価と管理基準、資産分類基準等	企業会計に移行するための基礎知識を正しく修得し、効率的な事業の執行を行うことができる。
	企業会計 一移りの準備と手続き③ (会計システム構築編)	1	地方公共団体で下水道事業を企業会計に移行する業務を担当する方	1.導入する財務会計システム・資産管理システム等の選定方法 2. 財務会計システムの仕様書 3.システム稼働に伴うデータ移行、試験運用等の留意点	企業会計に移行するための基礎知識を正しく修得し、効率的な事業の執行を行うことができる。
	企業会計 一移りの準備と手続き④ (庁内調整編)	1	地方公共団体で下水道事業を企業会計に移行する業務を担当する方	1.法適化に伴う事務手続き 2. 事務執行体制の検討、条例・規則等 3.関連部局との調整事項	企業会計に移行するための基礎知識を正しく修得し、効率的な事業の執行を行うことができる。
	企業会計 一移りの準備と手続き⑤ (質疑応答編)	1	地方公共団体で下水道事業を企業会計に移行する業務を担当する方	1.移行手続き及び準備等での問題点に対する質疑応答	企業会計に移行するための基礎知識を正しく修得し、効率的な事業の執行を行うことができる。
	消費税① (下水道事業における消費税)	1	地方公共団体等で下水道事業において消費税の業務を担当する方	1.消費税のあらまし 2. 下水道財政制度と消費税法基本通達等の解説 3.課税区分表、消費税の計算方法等	下水道事業における消費税の基礎知識を正しく理解する。また、法令や通達を正しく解釈し、様々な特例の規定を適用し、適切な納税を行うことができる。
	消費税② (地方公営企業と消費税)	1	地方公共団体等で下水道事業において消費税の業務を担当する方	1.下水道事業と消費税法 2. 地方公営企業法の適用と消費税法上の留意点 3.下水道事業における特定収入について	下水道事業における消費税の基礎知識を正しく理解する。また、法令や通達を正しく解釈し、様々な特例の規定を適用し、適切な納税を行うことができる。
	消費税③ (消費税算定事例(特定収入を含む))	1	地方公共団体等で下水道事業において消費税の業務を担当する方	1.消費税経過措置の取り扱いQ&A 2. 消費税の算定事例	下水道事業における消費税の基礎知識を正しく理解する。また、法令や通達を正しく解釈し、様々な特例の規定を適用し、適切な納税を行うことができる。

令和4事業年度研修コース別教科内容(案)

【オンライン研修で実施するコースです。】

オンライン研修で実施するものとして以下の講座を設けることを検討しています。ゴシック体は新規或いはリニューアル専攻です。

コース	専攻	研修期間	研修対象者	教科内容	研修成果
実施設計	鉄筋構造物と杭基礎のチェックポイント (初級)	1	はじめて下水道の実務を行うことになり、鉄筋構造物と杭基礎のチェックポイントの習得を希望する職員(土木職以外も含む)	1. 鉄筋コンクリート構造物の基本 2. 構造計算の基本と構造細目 3. 耐震設計の基本 4. 杭基礎設計照査	鉄筋コンクリートの構造計算を理解し、杭基礎と含めた設計等のチェックができる
工管事理監督	コンクリート施工のチェックポイント (中級)	1	はじめて下水道の施工管理実務を行うことになり、コンクリート施工のチェックポイントの習得を希望する職員(土木職以外も含む)	1. コンクリートの基本的性質、コンクリートの調合設計 2. 型枠工事と鉄筋工事 3. コンクリートの打込み・締固め及び養生 4. コンクリートの品質管理・検査	現場でのコンクリート施工の指導チェックができる
維持管理	管きよの不明水対策 (初級)	1	管路施設の維持管理を担当する職員	1. 管きよの不明水調査の解析方法 2. 不明水の調査方法と定量化 3. 管きよからの侵入水とその対策	管路の維持管理及び点検・調査計画、不明水対策等下水道整備区域全般にわたる管路施設の適切な維持管理ができる
官民連携・国際展開	官民連携 (特別)	1	下水道分野における「官民連携」に関心のある職員	1. 下水道分野における官民連携に関する国の動向 2. 官民連携の形態と留意点及び民間事業者から見た現状のPPPの課題 3. 下水道事業におけるPFI及びコンセッション方式導入事例紹介	下水道事業において実施されている各種官民連携について、最新の状況と国の施策と今後の方向性等に関する情報を得て、課題やその対応策等も含めて官民連携への理解を深める
	官民連携・国際展開 (特別)	1	下水道分野における「官民連携」や「国際協力」、「水ビジネスの国際展開」に関心のある職員	1. 下水道分野における官民連携、国際展開に関する国の動向 2. 官民で連携した国際展開の事例紹介 3. 官民連携に関するディスカッション	政府全体で推進している「官民連携」及び「水ビジネスの国際展開」について、下水道分野における取組みや今後の方向性等についての情報を得るとともに、官民それぞれの立場における課題を理解し、解決の方向性を見出す。
	効果的な包括的民間委託の導入と課題(導入準備編) (中級)	1	下水処理場の包括的民間委託の業務を担当する方	1. 包括的民間委託の基本的考え方 2. 包括的民間委託の導入・実施手順及び受託者の選定方式 3. 委託者と受託者の業務範囲・役割分担、リスク分担の種類	下水処理場における包括的民間委託の先進的な事例や特徴を踏まえた維持管理の質を確保するための留意事項を学ぶ
	効果的な包括的民間委託の導入と課題(総合マネジメント編) (中級)	1	下水処理場の包括的民間委託の業務を担当する方	1. 包括的民間委託の基本的考え方 2. 要求水準書の作成、標準契約書について 2. 導入事例に基づく事例解説	包括的民間委託の導入に伴う下水道経営の今後の目指すべき方向性、取り組むべき課題について、具体的な事例に基づき学ぶ
	管路施設の包括的民間委託 (特別)	1	管路施設の包括的民間委託に関心のある地方自治体職員	1. 管路管理の包括的民間委託の現状 2. 包括的民間委託事例紹介 3. 管路施設包括業務受託者が抱える課題と今後の運営展開について	不足する自治体職員の体制補完と今後増加していくであろう管路管理の費用や手間を少しでも低減させるために、民間のリソースやノウハウ、資金等を活用する包括的民間委託の導入を行う自治体が増加している。本研修では導入の現状と課題について理解し、各種パッケージングやサウンディングについて理解することを目標とする。

令和4事業年度研修コース別教科内容(案)

【地方研修のコースです。】

地方研修として以下の講座を設けることを検討しています。ゴシック体は新規専攻です。

コース	専攻	研修期間	研修対象者	教科内容	研修成果
経営	下水道経営入門 (初級)	1	下水道に携わる職員のうち、下水道事業の経営全般に関する基礎的知識を習得しようとする職員	1. 下水道の法令及び財源構成、経営の基本的考え方 2. 地方公営企業及び公営企業会計について 3. 「経営戦略」の策定、消費税 4. 下水道事業経営の現状と課題及び経営改革の取り組み	下水道の基本的な財源構成等幅広く下水道経営に必要な考え方等について学び、今後の下水道経営に関する業務に反映させることができる。
	受益者負担金 (中級)	1	下水道を実施する地方公共団体等において、受益者負担金の算定及び賦課・徴収事務に従事している職員	1. 受益者負担金制度の概要について 2. 受益者負担金の現状と課題について 3. 受益者負担金に関する問題点について 4. 受益者負担金に関するQ&A	受益者負担金について正しく理解し、その算定と徴収について適切な事務を行うための基礎的知識を習得する。
	下水道使用料 (中級)	1	下水道使用料の算定業務に携わる職員で下水道使用料の算定に関する新しい知識と技術を習得しようとする人	1. 下水道事業の経営状況等について解説 2. 下水道使用料の基本的考え方 3. 下水道使用料の算定のポイントなど	下水道使用料の仕組みについて理解するとともに、事例研究や算定演習を通して広く情報を取得し、使用料算定業務に反映させることができる。
	企業会計 (予算書作成) (初級)	1	下水道事業の企業会計移行時に予算作業を担当される方、企業会計移行時の予算書作成について勉強したい方。	1. 企業会計移行時の下水道事業における予算書作成について 2. 収益的収支と資本的収支の2本立の予算について 3. 予算執行に必要な資金計画の策定について 4. 企業会計予算書に添付すべき予定開始貸借対照表の作成について	企業会計移行時に初めて下水道事業の予算書作成に必要な基礎知識を正しく修得し、収益的収支と資本的収支の2本立て予算、かつ予算執行に必要な資金計画の策定、企業会計予算書に添付すべき予定開始貸借対照表の作成等について学ぶ。
	企業会計 (決算書作成) (初級)	1	下水道事業において、地方公営企業法適用後の決算に携わる方、決算業務の基礎から勉強したい方。	1. 地方公営企業法適用後における決算書作成について 2. 貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書、日常会計処理と財務諸表との関係について 3. 決算の調整における留意事項について 4. 決算書作成事例について	地方公営企業法適用後の決算書作成に必要な知識を学び、法適用後の決算書作成業務に反映させることができる。
	滞納対策 (特別)	1	下水道を実施する地方公共団体等において、受益者負担金及び下水道使用料の賦課・徴収業務に従事している職員	1. 下水道事業経営の現状と滞納等の課題について 2. 使用料、受益者負担金の性格と滞納処分について 3. 収納率向上と滞納対策の具体策について 4. 滞納対策に関するQ&A	受益者負担金及び下水道使用料の収納の向上を図るために、使用料等の性格を正しく理解し、適切な徴収事務を行うための基礎的知識を習得する。
	消費税(基礎) (初級)	1	下水道事業を実施する地方公共団体等において、消費税の算定、申告、納付事務に従事している人	1. 下水道における消費税問題の現状と要点 2. 下水道財政制度と消費税法基本通達等の解説 3. 消費税計算方法の基礎など	下水道事業における消費税制度について基礎から理解するとともに、講義や事例を通して消費税に関する会計技術を修得し、正しい申告を行うことができる
	決算と消費税 (中級)	1	下水道事業において、決算を担当し決算書を作成し、消費税の申告書を作成時事務に従事している方。	1. 下水道事業における消費税法の基本的な知識について 2. 下水道事業と特定収入について 3. 下水道事業決算と消費税申告書作成の手順の説明 4. 下水道事業における消費税の算定と申告書の実例について	下水道事業における決算のとりまとめと消費税申告書の作成が習得できる。
	決算書作成仕上の総点検	1	下水道事業の決算業務を担当する方	1. 貸借対照表、損益計算書及びキャッシュフロー計算書の点検 2. 消費税の点検 3. 決算附属書類の点検	企業会計の決算において、正しく決算整理がなされているか点検のチェックポイントを学び、決算関係の書類が正しくできているか確認できる

令和4事業年度研修コース別教科内容(案)

【地方研修のコースです。】

地方研修として以下の講座を設けることを検討しています。ゴシック体は新規専攻です。

コース	専攻	研修期間	研修対象者	教科内容	研修成果
実施設計	下水道設計セミナー (初級)	1	下水道管きよの設計・施工管理に携わる職員で、下水道管きよの設計・施工管理に係る基礎的な知識を習得したい方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 下水道概説 2. 下水道管路施設の設計(管きよ断面の設計) 3. 管きよの施工管理(管きよの施工管理) 	下水道管路施設を開削工事で実施する際の設計及び施工管理に役立つ基礎的な知識を習得し、今後の管きよの開削工事の設計や施工管理業務に反映させることができる。
維持管理	基礎から学べる下水処理場の維持管理 (初級)	1	事務職・技術職を問わず、下水道を担当する方で、維持管理経験の浅い方、特に、処理場の民間委託業務の監督者に任命されている方。また、維持管理の問題に直面している方、又は今後起こりうると懸念されている方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 下水道のしくみと基本的用語の解説 2. 省エネやコスト削減を考えた施設運転について 3. 維持管理コストと改築更新の密な関係について 4. 包括的民間委託をどう考える 	下水道に携わる職員が知っておくべき最低限の法律、下水処理場のしくみ、処理場の維持管理を効率的に実施していくうえで、必要な基礎知識を正しくバランスよく習得することができる。
	課題解決！維持管理のベストアンサー (中級)	1	事務職・技術職を問わず、下水道を担当する方で、維持管理に係る問題に直面している方、又は今後起こりうると懸念されている方。特に、処理場の包括的民間委託業務の監督者にされている方など。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 下水処理場のコスト削減・省エネ等に関する課題の検討 2. スtockマネジメントに関する課題の検討 3. 管理委託(包括を含む)に関する課題の検討 4. 下水道技術者育成に関する課題の検討 	下水処理場で維持管理に携わる方の視点に立って、問題となっている事項及び今後に想定される課題等を洗い出し、より早くより良い解決策に近づくことを目的とする。
	処理場設備のマネジメント (初級)	1	下水処理場の設備の維持管理を担当している方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 下水処理場の設備概要 2. 下水処理場の機械・電気設備の維持管理 3. 処理場設備の点検管理(他事例紹介含む) 	下水処理場の設備の維持管理を起点とするマネジメントからSM計画策定や効率的な修繕・改築計画に活用する新たなサイクルの標準化委・基準化を実施し、今後の事業執行や下水処理場の維持管理に関する業務に反映させることができる。
	下水道管路施設の維持管理 (初級)	1	下水道管路施設の維持管理に携わっている職員で、下水道管路施設の維持管理に係る全般な知識を習得したい人	<ol style="list-style-type: none"> 1. 下水道管路施設の基礎 2. 求められる下水道管路施設の維持管理 3. 管路施設の点検と調査手法入門 4. 管更生工法を考える(自立管と複合管について) 	下水道管路施設のしくみと用語、維持管理等を理解し、今後の事業執行や下水道管路施設の維持管理業務に反映させることができる